



2007年11月13日

## ハーミーズ・ペンションズ・マネジメント (Hermes Pensions Management) の Dr. Mike Connors 氏との懇談会開催のご案内

この度、英国最大の機関投資家ハーミーズの運用会社であるハーミーズ・ペンションズ・マネジメントのシニア・アドバイザーである Dr. Mike Connors 氏との懇親会（第3回）を開催します。

ハーミーズは長期の株式運用をベースに、企業経営者との対話を重視した『責任ある投資活動 (Stewardship)』を提唱している英国、欧州における機関投資家中核的存在です。同社は今後も、日本企業へのスチュアードシップ・インベストメントの運営強化を進めています。

今回の懇談会は2部構成とします。

【1部】11月8日に開催された“Asian Business Dialog on Corporate Governance 2007”にパネラーとして出席した Dr. Connors から当該大会に関する報告・評価。

【2部】東京証券取引所が主催する“東京証券取引所上場制度整備懇談会”の委員である日本 IR 協議会首席研究員の佐藤淑子さんをお招きし、懇談会中間発表及びその後の展開をレクチャーいただき、続き Dr. Connors と日英証券コードとの比較を検討し、投資家から信頼される東京証券市場への提言をしていただく予定です。

『中間報告書掲載サイト：<http://www.tse.or.jp/rules/seibi/houkoku.pdf>』

—記—

日時：2007年11月15日（木曜日） 午後1時より3時

場所：東京丸の内 三菱ビル 慶應MCC丸の内シティ・キャンパス(地図)

<http://www.keioae.com/access/marucontact.html>

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 TEL 03-5220-3111(代)

主催：MIDC グループ「M&A Review」（総合司会：酒井雷太）

後援：Hermes Pensions Management Ltd.

参加方法：本メールにて酒井へ直接お申し込み下さい。（酒井：03-5294-1540）

参加費：ご招待

### 【ハーミーズ・ペンションズ・マネジメントの紹介】

ハーミーズ・ペンションズ・マネジメント（ハーミーズ）は1983年に設立、1995年にはブリティッシュ・テレコムとブリティッシュ・ポストオフィスの年金運用を主体とするBTペンション・スキーム (BT Pension Scheme) の基で改組された。

同基金は現在、他の年金基金、保険会社など約240の顧客を持ち、委託運用総資産額は約690億ポンド（16兆5600億円：2006年12月末現在）。同基金の特徴は年金基金の運用を主体とすることから長期の株式運用をベースとして、企業経営者との対話を重視した『責任ある投資活動 (Stewardship)』を提唱している。同基金が持つ影響力はその巨額運用額のみならず、運用スタイル、情報収集・分析力において英国、欧州における機関投資家中核的存在として位置付けられている。

### 【Dr. Mike Connors (マイク・コナーズ) 略歴】

1949年生まれ。ニッセイ・ハーミーズ・スチュアードシップ・ファンドのシニア・アドバイザー（2005年2月より）。同ファンドはハーミーズとニッセイ・アセット・マネジメントの協業で、日本市場向けに組成、運用されている。コナーズ氏は英国シェフィールド大学から日本学（労働経済学）で博士号を取得、東京大学でもポスト・グラジュエイト・コースを履修している。ジャーディン・フレミング (Jardine Fleming) 証券会社でセル・サイド・アナリストを勤めた後、同社調査部部長として日本に滞在。その後、同氏はコーポレート・ガバナンスの独立系コンサルタント会社を設立（2002年）し、各種の投資組合の理事を歴任した。

M.I.D.C.グループ

マルチラテラル・インベストメント・デベロップメント・コーポレーション/ボリグロットインターナショナル/MDC日本コーポレートガバナンス研究所

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-16-13 日進ビル9階

電話：03-5294-1540 Fax：03-5294-1543